



## ■ 地域における人づくり実践事例

### 農業を通じた人材育成

#### 菊川ジュニアビレッジ (菊川市)

アグリーツ推進事務局

局長 加藤 百合子

ホームページ <http://agriarts.org/>



活動拠点 (農地)



日本を代表する専門家の講義を受講

### 子ども達の「生き抜く力」を育む

菊川駅から車で15分。のどかな田園風景が広がる一角に、子ども達の新しい学びの場があります。

「先の見えない社会の中を、子ども達は生き抜いていくことができるのだろうか？」

「高齢化や人口減少が進み、地域の産業が衰退してしまうのではないかと？」

このような危機感から、市は国の交付金を活用し、6月に「菊川ジュニアビレッジ」を開設しました。

ここでは、事務局長の加藤百合子さんが中心となって、大学教授、企業等と連携してカリキュラムを策定し、コミュニケーション能力や論理的思考力など、社会を生きるのに必要な「生き抜く力」を育むため、農業を軸に、学校や家庭では体験できない学びの機会を子ども達に提供しています。

現在、市内外の小学6年～中学2年生の16名が、週末に集まって活動しているほか、長期休暇中には、全国に参加者を募って、県外の子供達と一緒に農業ビジネスに挑戦しています。



活動拠点 (通称: 部室) にて、真剣に打合せを行う子ども達。

「部室」は、講義や打合せのほか、農機具等の保管場所として使用しています。

### 子ども達の成長 ⇒ 地域の活性化

「菊川ジュニアビレッジ」では、子ども達が計画を立てて、社長、広報、営業、生産、経理のそれぞれの役割を持ち、農産物の栽培から、加工、商品化、販売までの一連の流れを体験します。

今年度は、「ハーブ」と「ごま」を栽培し、「フレーバーティー」と「ごま油」に加工して販売しています。



フレーバーティーの味を決めるために、ハーブと茶葉の割合を変えて試飲し、評価しました。商品の名称やデザインも、専門家の指導を受け、皆で考えます。

スタートからまだ半年ですが、自ら進んで生き生きと楽しそうに働く子ども達がとても頼もしく輝いて見えました。「菊川ジュニアビレッジ」は、子ども達が農業ビジネスを通じて成長していくだけでなく、地域の大人達も刺激を受け、地域全体の活性化につながる素晴らしい活動だと感じました。(瀧)



運営の中心となっている加藤さん(写真中央)は、「子ども達が視野を広げて、自分が夢中になれるものを見つけてくれれば大成功」と話していました。

## ■ 県・市町・学校の活動紹介

### 地域で部活動を支援する 磐田スポーツ部活（磐田市）

磐田市  
市民部市民活動推進課  
スポーツ推進室



ラグビー部



陸上競技部

#### 中学生のスポーツ活動の機会を充実

11月上旬の午後6時頃、東名磐田I.C.からほど近くにある「磐田スポーツ交流の里ゆめりあ」を訪れると、体から湯気を立ち上らせて激しくぶつかる若きラグーマンの姿がナイター照明に浮かび上がっていました。彼らは、今年度からスタートした「磐田スポーツ部活」ラグビー部の部員達です。

「磐田スポーツ部活」は、県教育委員会の委託を受けた磐田市が、学校に希望する部活がない生徒に対し活動の場を提供するために立ち上げたものです。

磐田市内の小学校はタグラグビーが盛んですが、中学校にはラグビー部がなく、ラグビーを続けるために市外・県外の高校に進学する生徒も見られました。また、市内のいくつかの中学校には陸上競技部がありませんでした。こうしたことから、まずはラグビー部と陸上競技部の活動を開始しました。

現在、ラグビー部に13名、陸上競技部に19名、市内の中学生が所属しています。ラグビー部の指導者は、昨年までラグビートップリーグのヤマハ発動機ジュビロで活躍していた選手。陸上部の指導者は実業団の元監督経験者等が指導に当たっています。

現在、全国的に少子化の影響を受けて中学校部活動の種目数が減少しており、「磐田スポーツ部活」は部活動を補完する取組として注目を集めています。

陸上競技部は磐田市陸上競技場（かぶと塚公園内）で活動しています。7月に開催された「県中学通信陸上競技大会」で上位入賞を果たし、東海大会に出場した選手もいます。



#### 地域の豊かな教育資源を生かして

「磐田スポーツ部活」設立のきっかけは、県総合教育会議に先立って行われる、地域自立のための「人づくり・学校づくり」実践委員会での清宮克幸委員の提案です。

清宮委員は、「少子化で団体スポーツをしたくても学校ではできない子ども達がたくさんいる。」と問題提起し、「地域で青少年を支援する、地域のスポーツクラブの設立」が提案されました。

実践委員会からの提案を受け、平成27年9月の県総合教育会議で知事と教育委員会は「地域スポーツクラブ」の設立について合意し、モデル地区として磐田市が選ばれました。

「磐田スポーツ部活」立ち上げのきっかけとなった、実践委員会の矢野弘典委員長から激励を受けるラグビー部の選手達。

「全国中学生ラグビーフットボール大会」を目指して、週4回の練習に励んでいます。



「磐田スポーツ部活」は立ち上げ以降、あらゆるメディアで取り上げられ、県内外の自治体等から問合せが殺到しました。

10月下旬に磐田市役所で開催された中間報告会には、岩手県や広島県など30余りの自治体が参加して、担当者の説明に熱心に聞き入っていました。

県のモデル事業として始まった磐田市の取組は、地域の豊かな教育資源を活用して、学校の部活動を支援する先進的な事例です。

他の自治体へも拡大し、子ども達が部活動を選ぶ上で、選択肢が広がることを願っています。（小野田）

## ■ 地域における人づくり実践事例



人づくりについて説明する菅井推進員（左）



手際よく教える三浦推進員（中央）

### 人づくりについて考えてみよう！

#### 富士人づくりの会（富士市）

代表  
人づくり推進員  
三浦 喜久江



### 家族と一緒に体験

県内の人づくり推進員は、主に幼稚園、保育所、小・中学校や公民館等で「人づくり地域懇談会」の講師として、子育てやしつけなどの助言をしています。活動はそれだけにとどまりません。それ以外に、複数の推進員が協力して市民対象の講座を開催しています。

今回は、富士市の推進員5人（三浦さん、田中さん、菅井さん、原さん、佐野さん）が力を合わせて「人づくり推進員とクリスマス飾りづくりを楽しもう！」を開催した様子取材しました。

この講座は全3回のプログラムで、家族と一緒に「キャンドル」「まつぼっくりツリー」「折り紙によるリース」などのクリスマス飾りを作るものです。

まず、冒頭に菅井推進員から人づくり推進員の紹介や、県が進める「有徳の人」づくりについての説明がありました。



田中推進員は、折り紙の達人です。あっという間に完成品を作り上げていきます。また、教え方も抜群で、児童でも上手に素敵なリースを作ることができました。



ロウを溶かして、着色をしクリスマスキャンドルを作りました。家族みんなで協力して作ることで、今年のクリスマスはより思い出深いものになるでしょう。

その後、小学校で理科支援員をしていた三浦推進員や折り紙の本を出版している田中推進員が手際よくクリスマス飾りの作り方を教えていきました。

家族一緒にクリスマス飾りを作ることにより、親は子どものちょっとした成長を、子どもはお父さん、お母さんと協力して作業をする喜びを感じます。

### 地域で考える人づくり



最終回では、原推進員がサンタクロースに扮して、児童に読み聞かせを行いました。推進員はそれぞれに得意分野があり、お互い上手に組み合わせてとても素敵な講座になりました。

今回の講座は、富士市の推進員が「協力して地域のためにできる人づくり活動はないか？」と何年か考え温めたものを富士市社会教育課の力強いバックアップのもとに実現できたものでした。推進員は、今回の活動にとっても手応えを感じており、今後、このような活動を継続していくとのことです。

県では、県内各地でこのような取組が開催されるよう、人づくり推進員や市町と協力して活動をしていきたいと思っています。（伊熊）



講座の参加者には、子どもにさせたいこと、身につけさせたいこと、子どもへの接し方、地域での人づくりの取組などが掲載されている「人づくりハンドブック」を配布し、「有徳の人」づくりを伝えました。

## ■ 県・市町・学校の活動紹介

### 人づくり推進員研修会

文化・観光部  
総合教育局  
総合教育課



問合せ ☎ 054-221-3304

e-mail [sougouEDU@pref.shizuoka.lg.jp](mailto:sougouEDU@pref.shizuoka.lg.jp)



講演会を熱心に聞く推進員



仲島氏による講演

### 地域で子どもを育てる

県では、人づくり推進員の更なるスキルアップを図るとともに、推進員同士の理解を深めるため、毎年、研修会を実施しています。

今年度は、10月27日（木）に静岡駅ビルパルシェで、教育サポーターの仲島正教氏を講師として招き、「地域で子どもを育てる」をテーマに開催しました。

仲島氏は、教師生活の中で出会った多くの人達とのつながりと感動の体験談をもとに、「地域のつながりは一生の宝であり、子どもの自尊感情は周りの声が育てていく」と語りました。

迫力ある大阪弁で、笑いあり感動ありの講演でした。推進員からは、「すぐにでも自分が講師を務める懇談会で活用できる内容だ」「仲島先生の話をもっと聞いてみたい」といった意見が寄せられました。

### 情報共有の大切さ

この研修会は、単に講師の話聞くだけでなく、講演後に人づくり推進員と市町の担当者などが意見交換を行うところに特徴があります。今年度は、「地域で子どもを育てるためには」というテーマで話し合いを行いました。地域で推進員同士が連携し、市町とともに人づくり活動を発展させていこうという声も聞かれ、今後の新たな活動の展開が期待できそうです。（伊熊）



意見交換会では、活発な議論が交わされていました。この研修会后に、人づくり推進員同士がネットワークを組み、市町とともに地域のために新たな人づくり活動を開始するという地域も出てきています。

### 人づくり地域懇談会のご案内

県では、人づくり推進員を原則無料で県内各地に派遣し、「人づくり地域懇談会」を行っており、平成12年から現在まで、幼稚園、小・中学校、公民館を中心に、4,000回以上開催してきました。「人づくり地域懇談会」では、家庭や地域における人づくりのヒントが詰まった「人づくりハンドブック」を使い、人づくりや子育てに関するアドバイスをしたり、県の進める「人づくり」について説明したりします。家庭・学校・企業・地域の人づくりや子育ての手助けができるように、参加者とともに考え、人づくりを推進しています。「人づくり地域懇談会」や「人づくりハンドブック」につきましては県総合教育課にお問い合わせください。



人づくり地域懇談会の様子

■編集・発行 静岡県 文化・観光部 総合教育局 総合教育課(総合教育班)

〒420-8601 静岡市葵区追手町9番6号 TEL 054-221-3304 FAX 054-221-2905

E-mail [sougouEDU@pref.shizuoka.lg.jp](mailto:sougouEDU@pref.shizuoka.lg.jp) URL <http://www.pref.shizuoka.jp/bunka/bk-170a/>

静岡県の人づくり推進

検索

社会総がかりで「有徳の人」づくり！

